



みんなで考えるジェンダーの基礎講座 “ないこと”にしない社会へ

ここ数年で「ジェンダー」という言葉を耳にすることが多くなりました。「ジェンダー」とは、社会的・文化的につくられた性差のことで、私たちの生活と大きく関わっています。この講座では、社会の中で“見えづらい”、もしくは“ない”とされてきた問題と、その背景にある「ジェンダー」について考えます。すべての人が性別に関わらず、自分らしく幸せに生きる事のできる社会にむけて。あなたにできる事をみつめてみませんか？

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です

第1回 6/1(日)

セクシュアルマイノリティの現実と 差別の構造

社会が想定する「性のふつう」からはじき出された人たちが抱えるたくさんの困難。誰もが大切に尊重されるために、差別が生じる構造や多様な性のあり方を知り、学びましょう。



武内 今日子さん
関西学院大学
社会学部 助教

専門は社会学、ジェンダー・セクシュアリティ論。トランスジェンダーの経験や活動史を研究。著書に『非二元的な性を生きる：性的マイノリティの 카테고리運用史』（明石書店、2025年）など。

第2回 6/5(木)

戦後80年。戦争とジェンダーを考える

-著書『女も戦争を担った～昭和の証言』より-
女性はどうに戦争に向き合い、担ったのか。二度と戦争をしないため、未来を次世代に手渡すため、「過去」から学び、「今」なにをすべきか一緒に考えませんか？



川名 紀美さん
ジャーナリスト

70年朝日新聞社入社。学芸部、社会部を経て論説委員。社会福祉全般、高齢者や子ども、女性の問題等の分野の社説を担当。09年退社しフリージャーナリストに。著書多数。本著『女も～』は23年、40年ぶりに復刊。

第3回 6/10(火)

世帯のなかに隠れた女性の貧困

経済的DVに見られるような、世帯全体としては貧困ではないのに、一部の個人だけが著しく困窮している状態。顕在化しにくいこの問題の背景にあるジェンダーの構造をとらえます。



丸山 里美さん
京都大学 大学院
文学研究科 准教授

大学院在籍時から、フィールドワークによって、女性ホームレスを対象に調査・研究。主な著書に『女性ホームレスとして生きる－貧困と排除の社会学』（世界思想社、2013年）。最近では女性の貧困、貧困とジェンダーの関わりについて研究。

第4回 6/13(金)

男性の性被害、その声を聴く社会へ

なぜ男性の性被害は認識されにくいのか？「声をあげても、誰も聴いてくれない…」未来を担う子どもたちが、そう思わない社会にするために、私たちに出来る事とは？



近藤 凜太郎さん
神戸学院大学・龍谷大学ほか
非常勤講師

専門は「ジェンダーと教育」研究、特にDV・性暴力防止教育に関連する政策と実践。認定NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべにて、デートDV防止授業の講師を務める。

時間 各回 10:00～12:00

参加費 無料 ※全4回 1回ごとの参加も可

定員 40人（予約優先／先着順）

一時保育 無料 10人（1歳～就学前まで。5/23(金)までに要申込）

申込み
問い合わせ

5月2日（金）9:00～ 電話、窓口、センターHPで受付

TEL 0797-86-4006



イベントページ

主催：場所 宝塚市立男女共同参画センター・エル 宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階

